

石川新市長ブログへの武井コメント

教育問題

以前、石川氏は、小学校のうちに基礎学力を強制的にでも教え込むことが必要、そうでないと中学校に行っても苦勞する、と私に話したことがありました。基礎学力の大切さは認めるが、教育に強制はなじまないというのが私の考えです。(橋下大阪市長は「教育は20000%強制である」と公言していますが、なんて乱暴な発言なのだろうと思います。)

しかし、氏のブログには「教育で大切なことは、ただ単にお金をかければよいと言う事ではありません。子どもの素質や可能性を伸ばして育てていくことだと思います。そのためには、子どもに自らやる気を起こさせることではないでしょうか。強制・強要の教育ではなく、欧米のような自発性を育てるしつけや教育が大切になってくるのではないのでしょうか。そのためにお金が必要なら、私は喜んで捻出します。」と、あります。これは、一般質問で私が主張したことと、ほぼ重なります。真意はどのあたりにあるのか、ぜひ、お聞きしたいと思います。

職員の給料10%削減

「私の夫は市の職員ですが、一生懸命働いています。公務員の給料削減が国会で決まっている今、さらに10%カットされては、子育て、生活の見通しが立ちません。」という切実なメールをいただきました。私は、給料カットにはきっぱり反対していきます。

石川氏は「市の職員の80%は、無能である」と発言していると聞き、とんでもないことをいう人だと思いました。私は働く環境次第だと考えます。子どもと同じで「やる気」のでる職場環境では、大きな力が発揮されると。

しかし、この点についても石川氏はブログで、今迄の職員人事を批判して「仕事の出来る人、一生懸命頑張る人を上にあげず、ごますりのうまい職員を上にあげており80%の職員は、やる気が無いように見えます。80%の人が納得する人事をするべきだと思います。」と述べています。こういう話なら、賛否は保留しますが、何を言いたいかは分かります。

ただし、私は、それでも職員給料一律カットに反対です。それとこれとは別の話です。職員の生活権の問題です。公務員の数、給料は少なければ少ないほどいいという昨今の風潮に危険なものを感じます。そこに迎合するようなポピュリズム的な政治は認められません。

ボートピア問題

昨年3月に、伊利市長(当時)が石川氏に「坂戸市にボートピアを作りたい」と話したという記事を見て、愕然としました。これ以前に、私が一般質問で取り上げ「そういう話には二度とのらない」という答弁をえていたからです。事実ならば、重大な約束違反でありますし、事実でないならば、伊利氏は公的にこういうことが発信されていることに対して、なんらかの措置をとるべきです。

財政問題、火葬場、よさこい などについては次の機会に・・・。